

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた課題と取組の状況

- 【特徴(強み)】
1. 市内の精神科病院から積極的な協力体制が得られている。
 2. 自助グループ(セルフヘルプグループ)が活発である。
 3. 基幹相談支援センターへ地域移行体制整備事業を委託している。

課題	課題に解決に向けた取組状況	取組の成果
地域移行について、各機関の理解、意識、スキル等が一律でない	<p>①障害福祉に携わる方を対象に、「地域移行勉強会～地域移行気になる人この指とまれ～」を実施。第1部で厚労省U-TUBE動画導入編を視聴し、第2部で精神障害のある方の支援について医療・地域・行政それぞれの立場から日々の実践をお話頂いた。</p> <p>②生活援護課と基幹相談支援センターの合同研修会をお互いの業務への理解や連携強化を目的に実施。</p>	<p>①理解が深まった。参加者へのアンケートの中で、地域移行に関わってみたいという方が出てきた。相談支援事業所の中で、地域移行の指定申請を前向きに検討して頂ける事業所が出てきた。</p> <p>②事例を通して、連携のタイミングや支援内容について確認ができた。</p>

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (現時点)※	目標値 (令和元年度末)	達成状況の見込み(評価)
事業所向けマニュアル(手続に関する事等)や本人とのコミュニケーションツールの検討	内容検討	内容検討	手続に関する部分について案を作成した。
研修の実施	2回	1回	上記記載の勉強会

※現時点の値が分かれば記入して下さい。分からない場合は、年度当初の値で構いません。

●指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。